

会報 こぶし

令和7年度の活動

花北地区「コミュニティ協議会」会長 高橋 修

日頃より、当協議会の事業にご協力いただき感謝申し上げます。令和7年度事業は、今回も「サクラ並木ライトアップ事業」ではじまりましたが、今年は1週間ほど肌寒い日が続いたため、ライトアップも延期しました。

さて、当センターの南にある「愛宕公園」は、昨年改修工事が行われ、芝生の張替えと、古い遊具の更新、そして東屋の増設が行われました。東屋は南の道路から出入り可能にし、新たに路線バスの停留所が設置されたため、バス利用者にも多く利用されております。天気の良い日には、親子で利用する人も多く見え、改修工事が行われて良かったと感じております。今後は、この良い環境を利用して、振興センターの利用を活性化していきたいと考えております。

本年度は、10月11・12日に予定している文化祭の初日に、屋外でステージ発表と併せ、キッチンカーなどを招い



新しくなった遊具で遊ぶ子供たち

た「花北地区愛宕公園まつり」を開催する予定です。初めての試みでありますが、子どもから高齢者まで楽しめるイベントを目標に、センターの敷地の効率的な活用や周辺の方々のご協力を

発行 花北地区
コミュニティ
協議会
編集 総務企画部会

各部会より

◆総務企画部会の活動

部会長 菊池善明

部会長として3年目を迎えました。今年は役員の改選期と重なったため、私を含めた部会員12名中半数以上の7名が新しい部会員となりました。そのため、部会の活動を詳しく説明しながらの第1回目の部会となりました。

まず、秋の研修旅行です。奥州市方面です。後藤晋平・高野長英両記念館、藤原の郷、正法寺を研修先としました。期日も決定しました。10月18日(土)です。9月に募集案内をいたします。たくさんの方の参加をお願いいたします。

また、会報「こぶし」を年3回発行します。自主投稿された方には2千円の商品券をプレゼントしますので事務局へ提出願います。

今年は、取材を積極的に行う方針です。というのも、自主投稿を待っていても数が少なく紙面作りに苦労してい

ますので…。生涯学習講座は、協議会だよりで取り上げられています。が、会報「こぶし」でより深く、皆さんに紹介したいと考えています。

◆生活環境部会の活動

部会長 中園教一

地域の皆様、日頃は生活環境部会活動へのご理解、ご協力頂き誠に有難うございます。今年度は各地域の役員・運営委員の改選などもありましたが、頼もしい個性豊かなメンバーで活動を開始しました。

今年度も昨年リニューアルした愛宕公園広場、グラウンドの草取り、清掃活動を7月、9月に予定しています。

早々、6月10日には早朝から花北振興センターの花植え作業を実施しました。植え付けしたベゴニアの花言葉は「幸福の日々」とも言われていますが、秋に掛けて綺麗なお花達が咲き誇り、利用する方々を温かく迎え入れてくれることと思いますし、花言葉のように地域の皆様が、安全・安心に活気ある日々を暮らせるよう、生活環境部会運営委員一同、一生懸命取り組んで参りたいと思います。

先日 of 全体会議では各地域の共通の課題であり、担当者の大きな負担となっている「ゴミ集積所への不法投棄、分別されていないゴミの出し方」をどう解決してゆくのか、活発な意見が出され、活気のある全体会議となりました。

ゴミを出す住民一人ひとりのモラル向上に向け、粘り強く啓蒙活動や注意喚起していくことと、ゴミ集積所の管理方法など改善に繋がる事例を共有し、ゴミ問題の課題解決に取り組んでいきたいと考えています。

本年度も生活環境部会活動へのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。



プランターへの花植え作業の様子

◆令和7年度の教育文化部事業

部会長 松田 廣邦

今年度の部会の事業についてお知らせいたします。

事業は昨年度と同様に次の4項目について進めて参ります。

一、郷土の伝統芸能鑑賞

「黒沢尻歌舞伎の公演」

二、花北地区文化祭・ステージ発表会

三、花北文化講演会

「新春お楽しみ花北寄席」

四、花巻市民憲章大会への参加

一つ目の郷土伝統芸能鑑賞について昨年は「倉沢人形歌舞伎」をご覧頂きましたが、今年は、「北上・黒沢尻歌舞伎保存会」の皆さんによる公演を予定しております。これは、明治後期から昭和10年代に盛んであった「娘歌舞伎・芸者歌舞伎・旦那歌舞伎」の伝承を受け継いで昭和55年に復活保存しようとして活動しているものです。平成25年には「岩手県芸術選奨」を受けております。是非ご覧になってください。

花北地区文化祭等については、今年は「愛宕公園まつり」との同時開催が予定されていることから例年以上に入出が見込まれるところです。文化祭は、地区住民の芸術文化の発展を目指して多方面からの作品の展示を期待しているものではないかと考えています。今年でも多く作品の提供をお願いしたいものです。

「文化講演会」については、今年で3回目となる花北寄席を開催し日本の話芸である講談と落語を楽しんでいただきます。今回は、本牧亭様のご都合により「新春お楽しみ寄席」として企画しております。公演後の色紙も楽しみに。

「花巻市民憲章大会」については、例年内容が地域の功労者の表彰と講演になっておりますが、これに併せて開催される講演は、主催者がお招きする様々な分野で貢献されている素晴らしい方々のお話です。限られた役員のみのならず一般の方にもお聞かせしたい内容になっておりますので是非参加して聴いてみては如何でしょうか。以上が各項目の内容です。今年度も地域の皆さんのご理解とご協力をよろしくお願い致します。

◆保健体育部会の事業について

部会長 牛崎 弘

令和7年度の体育部行事の報告をします。

6月8日花北地区ソフトバレーボール大会、7月27日花北地区ニュースポーツ大会、10月19日花北地区ソフトボール大会、11月9日花北地区グランドゴルフ大会の4行事です。まずは花北地区ソフトバレーボール大会については、こぶし42号発行の時点では終わっている事と思います。昨年は6チームの出場でしたが、今年は7地区の参加となりました。次に花北地区ニュースポーツ大会は、毎年会場が狭いとの意見が出されますが、創意工夫して準備し、大会に向けて実施する予定です。

次に花北地区ソフトボール大会ですが、雨天の場合は中止となります。予備日として会場が取れないためです。そして最後の事業は、花北地区グランドゴルフ大会です。昨年は愛宕公園の芝張りのため使用できず、本館近隣公園にて行いましたが、今年は芝張りも順調で愛宕公園にて大会が出来る様になり安心しております。

◆地域安全部会活動計画

部会長 松田 富彦

令和7年度の地域安全部会の活動は、5月10日の第1回全体会議(全3回予定)より始まり、今年度の事業計画について確認致しました。

毎月11日の防災用携帯無線交換訓練を行なうにあたり、6月28日に防災用無線機の保守点検及び操作についての講習会を実施する予定です。

9月27日より秋の交通安全運動啓発活動として、早めのライト点灯の啓発点検として、交通安全標識・カーブミラー・交通危険箇所点検を各自自治会単位で実施予定です。

11月29日は花巻市ふれあい出前講座事業として、救急救命セミナーを花北振興センターにて実施致します。

また、花北地区文化祭の準備等の応援作業も予定しています。

今年度の地域安全部会の活動を通して、地域の自主防災・交通安全に対する意識の向上や、事故防止等を図っていきたくと考えております。

総務企画部会だより

▼本当に楽しそうな「健康教室」

総務企画部会

6月13日(金)に体育館で開催された「健康教室」の取材に出かけました。

開始前の時間、数人の参加者に何回位参加しているのか、この教室のどこ

に魅力を感じているのかを尋ねてみました。ある方は「十数回参加しています。講師の先生の話が楽しいのと体を動かすのがいい」ということを話していました。また、一人暮らしをしているという方は「3年位前から参加しています。18回以上は参加しています。家にいてテレビで健康にいい運動というものをを見て、やってみても1人だと三日坊主になるし、膝下が痛いということもあり、予防にいいという意味もあり参加しています。又、初対面の人も知り合いになれて、うれしい気持ちになります」ということでした。

どんなものかなと30分位、様子を見てみました。参加者の方が話していた通り、先生の話術の素晴らしさ、そして内容が奇抜であることから、私も来年、申し込んでみようかなと思うような内容でした。

基本は椅子に座ってやるもので激しい運動ではありません。最初はジャンケンゲームです。先生曰く、「後出しでもいいので私に勝つて下さい」と。グループ



ジャンケンの様子

で行ったり個人を回り一対一の勝負をしたり。参加者も楽しそう。次は人格が変わった振りをして「私はジャンケンに負けるのが嫌いです。皆さん私にジャンケンで負けてください」と話し出します。この誘導に私は内心にやいやして「この先生やり手」と思っていました。たかがジャンケンされどジャンケンです。わざと勝つ、わざと負けるは「頭の健康」を誘発するという先生の説明に合点しました。今度は足ジャンケンです。手ジャンケンと同様な内容でしたが、普段は足でジャンケンはしません。ここに健康教室という所以があるのだと感じました。どんなタイミングで話がでたのか、ボヤックとしていたら、ある方が、「今朝、窓を開け散歩に出かけたら、カラス2匹に攻撃され、足がもつれて前のめりに転んでしまいました。足の健康の重要性を知りました」という話をされていました。私は「カラスが本当にそんな事をするのか」と思って聞いていました。

次は「どびん、ちゃびん、はげちゃびん」ゲームです。4人が輪になる形で椅子を並べ、好きな相手を選んで「どびん」と叫んで指さします。指をさされた人はまた「ちゃびん」と叫んで別の好きな人を指さします。同様の繰り返しです。先生曰く、「普段大きな声を出すこともないでしょう。指さすということもしないでしょう。大きな声を出すことは、内蔵を鍛えます。誤嚥

性肺炎の予防になります。これが健康につながるんです。また、聞くということに関しては、年齢を重ねると片方の耳が聞こえなくなるという事があります。このゲームには、そういう事を発見する事に繋がる意味合いもあります」納得の説明でした。



どびん、ちゃびん、はげちゃびんゲームを見守る先生

交通安全の確保

全国の交通事故の中で、自転車乗用中の事故のうち約5割の方が頭部に致命傷を負って亡くなっています(警察庁調べ)。

このため、令和5年4月1日からは、自転車利用者にヘルメット着用が義務化が課せられましたが、現状を見ると小学生など低年齢ではヘルメットを着用している姿を見ますが、高校生から大人ほどヘルメット着用割合は少なく、令和6年7月に警察庁が全国で調査した結果では岩手県10・6%の34位と低く、1位は愛媛県の69・3%、全国平均は17%との結果で大きな課題

です。

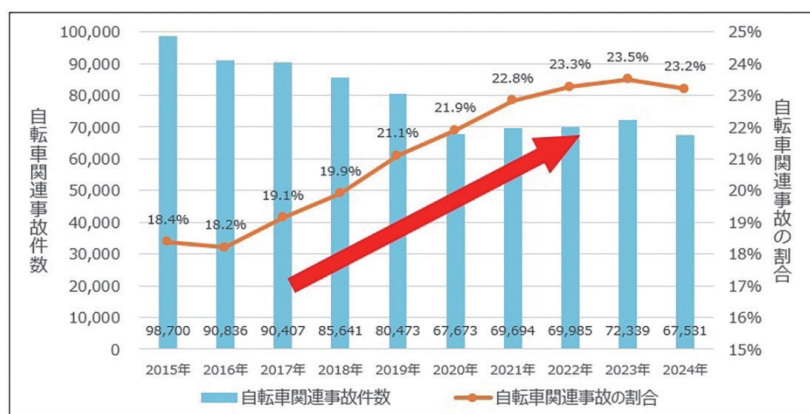
ヘルメット着用率は少しずつ高まっているようですが、事故が起きてからでは遅い。自分の身の安全や家族のためにも重大な事故防止の心がけとして、自転車を利用する場合は必ずヘルメットを着用しましょう。

次に、同年7月1日からは「電動キックボード(足で地面をけり立ったまま乗り移動する道具)」を使う場合は運転免許が不要(自賠責保険加入・ナンバープレートは必要)で、都会を中心に利用拡大しているようですが、16歳未満は運転禁止で、ルール違反者には6ヶ月以下の懲役や10万円以下の罰金が課せられます。この付近では見ることは少ないですが、若者には人気があるらしいので、使用には十分注意しましょう。

また、令和6年5月17日に国会で可決した道路交通法の一部改正では、16歳以上で自転車による交通違反、警察官の警告に従わないなどの違反行為を続けた場合や事故につながりかねない交通の危険を生じさせた場合に交通反則切符(青切符)が渡される制度ができ来年(令和8年4月)から施行されます。「ながら運転スマホ」などの違反をすれば5千円〜1万2千円の罰金を納付することになります。

このように道路交通の発達で生活環境が変化する一方で法律制度も変わっています。日ごろから自分の身の安全に十分気をつけるとともに、皆が普段

から交通安全確保に努めることが大切です。



地区だより

華やかにおいらん桜絵巻

四日町一丁目区 森野佳世子

当地区は、420世帯940名下幅地区はここ数年來多くの若い世帯が増えて来ています。しかし、全員が顔を会わせることは中々難しいもの。公民館が無く、行事はもっぱら花北振興セ

ンターホールを活用させて頂いて頂います。多くの地区民どうしが顔を会わせる機会として幾つか行事を企画していますが、その一つが三世代地域交流花見会です。今年は4月27日に開催。参加者は75名を超えました。この機会に新一年生を紹介しております。民生児童委員と通学パトロール隊に付き添われて登壇、地区民にご挨拶。桜台小学校の歌唱も披露します。地域での見守りを兼ねた取り組みの一環です。

例年、この行事には交通指導員を招き、新一年生、保護者、高齢者を対象とした交通安全寸劇をお願いしています。ユーアたっぷりの寸劇に会場は笑いの渦となります。桜の花はすっかり散ってしまつたものの会場は何故か華やか。



花見会の様子

今年のアトラクションは、北上・橋本一座の「おいらん道中・さくら絵巻」と題した趣向を用意、普段は中々見ることの出来ない艶やかな装束を鑑賞しました。この一座は北上展勝地さくらまつり開催時に「おいらん道中」をされる方々で豪華絢爛な衣装を身に付けて優雅な高下駄の運びで練り歩くものです。テレビの報道では目にしていたものの本物の出演は想定外であり、びっくりするやら嬉しいやらの一時でした。

「ミニおいらん道中」の後には、一座による股旅・民舞踊の数々、時間の経つのも忘れての2時間です。地区民の中にはこの方々とお知り合いも居られ、昔を思い出して懐かしく談笑する姿がありました。今では結婚式でもあまり見られなくなった振り袖姿の踊り子さん達に、集まった老若男女、目を見張っておりまして。参加してみて地域の年齢は様々ですが一同に会して笑い合える行事があること、大事にしたいと思つたところです。



おいらん道中

地域で育った記憶

桜台一丁目 早野こすえ

《この地区に住んでよかった》と感じるのは、子どもたちが地域の真ん中にある瞬間です。

たとえば、花巻祭りの子どもも神輿。お揃いの半纏を着て元気にまちを練り歩く小学生たち。その周りを囲むのは、見守る保護者と地域の方々のあたたかなまなざし。自然と「がんばれー」と声がかかる風景には、昔ながらの「近所の力」を感じます。

自治会が主催する夕涼み会では、焼きそばやかき氷、スーパードールすくい、射的。輪になって踊る桜台音頭。準備や片付けはもちろん大変ですが、

おなじみの地区の皆さんと顔を合わせられる、そういう機会をとっても大切に感じています。

三世代交流グラウン

ドゴルフでは、子どもと高齢の方が自然に会話を交わし、笑顔を交わす場面にはほっこりします。

中学生になった上の子は、小学生神輿について歩くなど、地域の行事を「手伝う側」として経験するようになりました。小さな子どもにも優しく接したり。そんな成長の姿も、地域のつながりがあつてこそです。

子どもの頃から住んでいる桜台ですが、気づけば私自身も「見守る側」になっていました。顔が見える関係のなかで育つ子どもたちは、きっとやさしさを自然に学んでいくのでしょう。これからも地域の一員として、ささやかでも何かしらの力になればらと思っています。

編集後記

今年早くも半年が過ぎました。自動車関連税、米の値上がりを含めた物価高。ロシアとウクライナの長期戦。日本は平和であり続けてほしいものです。皆様にとってよい1年でありますように。

(編集長 瀬川忠規)



夕涼み会の様子